

セネガル国 非感染性疾患対策強化プロジェクト

通称：Aaru Ci MNT (アールウチ・エム・エヌ・ティ)

ニュースレター第8号

2026年4月発行

ジュールベル州から広がるNCDs予防：教育セクターとの継続的連携



生徒によるグループワーク：NCDsのリスクファクター

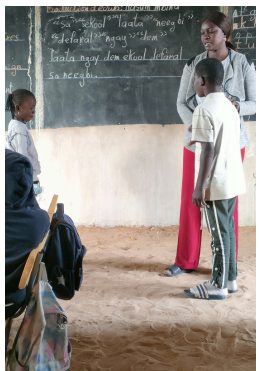
非感染性疾患（NCDs）対策において、大人に生活習慣の改善を促すことは、長い時間をかけて取り組む必要のある課題です。アールウチMNTでは、予防を進めるうえで重要な場として学校に着目し、生徒や教師をはじめ、学校全体を対象とした取組に力を入れています。子どもたちは学校で健康的な生活習慣を学び、その知識や行動を家庭や地域にも広げていく役割を担います。この考え方のもと、2023年6月から2025年5月までのプロジェクト第1期が終了した後も、教育分野との連携を継続しています。2026年1月から3月にかけて、ジュールベル州のバンベイ、ンバケ、ジュールベルの3県にて、小学校教員研修後のフォローアップとして、実施状況の確認を行いました。

合計で53校を訪問し、NCDs予防の授業を受講した生徒が約2万人にのぼることが確認され、NCDs予防の授業が着実に実施されていることが明らかになりました。糖尿病および喘息に関する授業はほぼすべての学校で実施され、生徒の80%以上が2つ以上のNCDsの病気の名前と、3つの予防方法を説明できるようになっていました。一方で、課題も残っています。血友病や鎌状赤血球症の授業の実施は、一部の学校に限られており、今後さらに広げていく必要があります。また、多くの学校では給食設備が整っておらず、食事や栄養について学べる食育の機会



NCDs予防について学ぶロールプレイ

も十分ではないという状況も見られました。今回の結果から、学校は、病気になる前の対策としてNCDsの予防を進めるうえで非常に重要な役割を持っていることが改めて確認されました。今後は、これらのNCDs予防の学習内容を正式な教育カリキュラムに組み込み、子どもの頃から継続して学べる仕組みを強化していくことが求められます。



「喘息」の予防について学ぶ授業風景（写真左1年生クラス、写真中央・右5年生クラス）

伝統医療従事者（Praticiens de Médecine Traditionnelle）と進めるNCDs対策 連携強化に向けた取り組み

2026年2月から3月にかけて、トゥーバおよびジュールベル保健区において、伝統医療従事者（Praticiens de Médecine Traditionnelle：PMT）を対象としたオリエンテーションを計4回実施しました。この活動は、糖尿病および高血圧症のよりよい管理につなげるために、伝統医療と現代医療の連携を強めることを目的としています。

研修は、説明と意見交換を組み合わせて進めました。参加者には、足の傷が治りにくくなる症状や脳卒中、腎臓の病気など合併症の兆候に早く気づくポイントや、医療機関へ適切につながるための目安について説明しました。また、地域で取り組むべき生活習慣の改善など予防方法についても共有しました。特にトゥーバでは、口の健康と血糖値の関係など、これまであまり知られていなかった重要なポイントについても紹介しました。参加者は、これらの病気が長く続く慢性的な病気であることを理解し、予防や早期対応の重要性についての認識を深めました。

一方で、治療や管理の方法については、引き続き理解を深めていく必要があることも分かりました。今後は、PMTが地域での予防活動の担い手として十分に役割を果たせるよう、継続的な支援を行っていきます。



トゥーバでのPMT向け研修

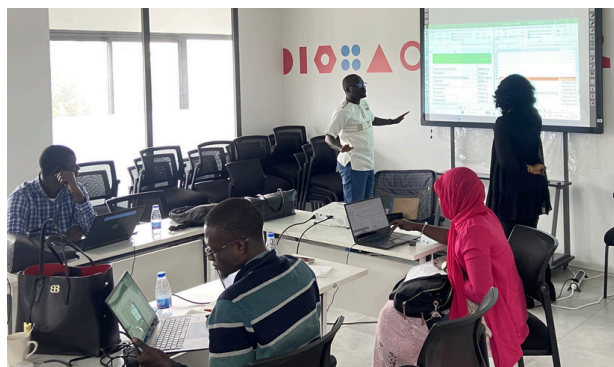


ジュールベルでのPMT向け研修

NCDs医薬品の確保に向けて 必要量推計と調達支援



テーマ別グループワークの進め方の説明



グループワークの様子（糖尿病および高血圧症）

2026年1月5日から9日にかけて、ダカールにて、NCDsに関する医薬品および医療製品の必要な量を見積もるためのワークショップを開催しました。

このワークショップには、NCDs課、国立医薬品供給局（PNA）、循環器学会、糖尿病学会および神経学会、国立タバコ対策プログラムから、23人の専門家が集まり、糖尿病・高血圧、がん・鎌状赤血球症、タバコ対策の3つのグループに分かれて推計作業と議論を行いました。その結果、必要な医薬品の量をより正確に見積もることや、それに基づいた予算の計画づくりが進められました。

糖尿病および高血圧症については、患者の増加を見込み、医薬品の供給量を10%増やす方針としました。また、脳卒中に対応するための救急医薬品の準備状況についても情報共有が行われ、PNA、病院薬局、専門医の間での連携強化にもつながりました。

今回の成果は、2026年の医薬品調達計画の基礎資料として活用される予定です。

今後の予定（2026年第2四半期）

- 脳卒中管理研修（ジュールベル）
- 治療的 patient 教育（ETP）に関する研修（ジュールベル・ティエス）
- 教員向けNCDs予防研修（ティエス）
- その他